

まるごと吉野川 “魅力再発見”講座

古くから吉野川との関わりによって育まれてきた阿波の歴史・文化・環境をテーマにさまざまな角度から吉野川について学んでもらおうという「まるごと吉野川“魅力再発見”講座」。今年度は現地見学会と、YouTube配信による講演会の2つの講座を開催しました。



堤防から中島島をのぞむ

かつて吉野川には多くの川中島がありました。阿波市・吉野川市にある日本最大の川中島・善入寺島や、美馬市穴吹町の舞中島のように現在でも訪れることのできるものもありますが、多くは改修工事によって昔の面影は失われています。今回の「まるごと吉野川魅力再発見講座」では、まず美馬市の中島島を訪ね、吉野川の洪水との戦い、改修工事の歴史について学びました。

中島島は吉野川河口から約58km付近にあった川中島で、かつては人々が暮らしていました。水防竹林などの備えはしていても、吉野川が氾濫するたびに

吉野川の川中島・中島島の改修と歴史を学ぶ

現地見学会



現場からみる吉野川
中島島・うだつの町並み歴史探索バスツアー

2026
1/10



島内に鎮座していた伊射奈美神社は、平成4年(1992)に堤防沿いの現在の場所へ。この際、中島城主の墓も神社に移築されたとか

島は浸水し、孤立化を余儀なくされてきました。昭和49年(1974)9月の台風18号では全島が浸水。その後も甚大な洪水被害が相次ぎ、ついに昭和57年(1982)に全島買収による住民移転が決定。島内に残っていた28戸が県内外へと移住し、築堤工事などの改修が行われました。改修工事によりこの地域の治水は飛躍的に向上。現在では、周囲に「四国三郎の郷」や「中島地区河川防災



中島渡し跡の石碑



中島島周辺航空写真(昭和39年)／国土交通省徳島河川国道事務所提供



洪水時の中島島周辺(昭和38年)／国土交通省徳島河川国道事務所提供

ステーション」などが整備され、中流のにぎわいや防災の拠点となっています。講座では、堤防の上から全景を眺めながら歴史についての説明を受けた後、中島渡し跡、島内から移転された伊射奈美神社などを見学。メモをとりながら「つらい選択やな」と、思わずつぶやく参加者もいました。島内には伊射奈美神社跡や学校跡、洪水時の避難場所となっていた中島城本丸跡などが残っていると。機会があれば訪ねてみたいですね。

INFORMATION



中島島や舞中島の改修工事についてもっと知りたい方は、国土交通省徳島河川国道事務所発行の広報誌「OurよしのがわVol.32」をご覧ください。

こちらからどうぞ➡

